

令和5年度予算編成方針のポイント

国・地方財政の動向

◇ 新型コロナの影響

- ・ 令和3年度から4年度に2回にわたる補正予算の編成により国債発行額増大
- ・ 国・地方における財政需要の拡大

◇ 骨太の方針 2022

- ・ 財政健全化目標の堅持
- ・ 新しい資本主義に向けた「GX・DXへの投資」「子ども家庭庁」の創設による体制強化「デジタル田園都市国家構想」の実現

高梁市の状況

◇ デジタルの活用による政策の推進

- ・ 「新型コロナ」、「災害」、「人口減少」の三つの国難に加え、「原油価格・物価高騰」に直面
- ・ 「DX」「GX」の更なる加速化による積極果敢な挑戦が必要

◇ 「政策推進」と「健全財政」の両立

- ・ アフターコロナを見据えた「持続可能な財政基盤」の確立に向け、なお一層の努力が必要

基本的な考え方

「市民と地域経済を守り、ずっと住み続けたいまち」 の実現に向けた施策を推進

- ・ 令和5年度は、「高梁市総合計画」の3年目となることから、「健幸都市たかはし」を具現化するため、実施計画に位置づけられた取組を着実に前進させる。
- ・ 行財政改革の取組を強力かつ着実に進め、必要性・緊急性・効率性等を精査したうえで取捨選択や発想の転換による再構築を行うなど、全ての事業を対象にスクラップアンドビルドの検証を徹底する。
- ・ 公民連携の強化により、ふるさと応援寄附や企業版ふるさと納税など、柔軟な発想で財源確保に努めるほか、国が重点分野とした5つの柱など、国施策を最大限活用するなど、積極的な財政負担の軽減に取り組む。

重点施策

① ゼロカーボンと防災・減災の推進

- ・ 再生可能エネルギーの導入・利用の拡大、防災・減災に資する取組 など

② ベビーファースト運動の推進

- ・ 様々な子育て支援事業の取組、子育て世代が安心して子育てできる環境の整備 など

③ デジタルスマートシティの推進

- ・ 行政手続きや行政システムにおけるデジタル化の推進、AIなどのデジタル技術を活用した業務改善の取組 など

予算編成にあたっての留意事項

- ① 全ての事業について改めて見直しを行い、必要最小限の要求額に絞り込み、前年度より一般財源を上回ることをしないよう留意すること。（ゼロシーリング）
- ② 新規事業の創設に当たっては、原則、スクラップアンドビルドにより、一般財源ベースで同規模程度の事業の廃止・縮小を行うことを条件とする。
- ③ 行革で実施した「事務事業評価」について、評価結果と予算要求の整合をとり、安易に前年度と同じ要求としないこと。
- ④ 国県支出金等の廃止や縮減が行われた事業は、市の単独事業として継続することなく、事業自体のあり方から見直すこと。
- ⑤ 団体運営補助金については、本質的に必要な事業かどうか厳しい視点を持って審査し、事業効果が不明確なものや、繰越金の多い団体の補助金については見直しを行うこと。
- ⑥ 特別会計については、経営改善・自立化に向けた取り組みを強化し、一般会計からの繰入金の縮減に最大限努めること。

編成スケジュール（予定）

- 予算編成事務説明会 . . . 10月 7日（金）
- 予算要求書締切
 - 経常経費 . . . 10月27日（木）
 - 政策経費 . . . 11月 7日（月）
- 予算ヒアリング . . . 11月中旬～12月下旬【別途通知】
- 市長ヒアリング . . . 1月下旬頃【別途通知】
- 予算発表 . . . 2月中旬頃